

広 報  
おとづまち  
1972—10

人口の動き

出生	24
死亡	15
転入	77
転出	59
帯	4,679
人	18,929
男	9,008
女	9,921



待望大津バイパス開通  
2車線4.4km 将来は4車線へ

# 10月10日は 体育の日

## 「運動参加のパターン」

柳田国男先生の『明治大正史』のなかに『春秋の遊山は運動会と改まって、活気のある、殊に少年たちの悦ぶものになった。酒や三味線という小人数の楽しみは家に隠れて、跳ねたり飛んだり。運動という語はもとの無邪気な遊びが多く加わっては出遊という意味にも使われていたから、是もそういう所から普及した名称かも知れぬ。』とに角、最初はみんながこの日ばかりでて競技に携わるようであったのが、『晴』という感じが強くなってその道の修行が盛んになり、選手というものを用意するに至った。外国の競技法には不思議な程日本人は早く上達した。それで自然にこの団結が二つに分れて、僅かの人数その手腕を人に示そうとするものと、じつと見物して感歎の声を放つ者となった。……iiと「するスポーツ」と「見るスポーツ」の発生のパターンを書いておられる。問題は、われわれの仲間にくれた技倆のもちがでるとそれを前面に押しだし、他の大部分が見物人の地位に退いていく傾向は否定できないにせよ、いつまでも一〇〇分の一、一〇〇分の一の人間のための支持者でいることが『体力つくり』に必要なのかということである。必要なのはより多くの人が決まった日だけスポーツに参加し、散っていくのではなく、いつも参加していることによって、身体を通して自分の内にあるものを表現しようとする気持を共にすることで、参加意識、進歩意識を強めながら『運動不足病』をなくして「こうとう」ということになる。歴史が変わると、運動参加のパターンも、しだいにもとに戻っていく可逆性を説めることも可能のようと思われる。

- 
- 2 ……10月10日は体育の日
  - 3 ……昭和48年度決算のあらまし
  - 5 ……知事視察をうけた東部菊池栗振興協議会、松くい虫の防除
  - 6 ……九月定例会報告、防災功労者に知事表彰、消防団だより
  - 7 ……金婚おめでとう、世帯平均の医療費、白バラコーナ
  - 8 ……町長に便りを出そう、交通安全母の会誕生、カーブミラー設置
  - 9 ……大津小学校に三つの栄冠
  - 10 ……老人福祉大会
  - 11 ……善意、よろこび、おくやみ
  - 12 ……消防組合、消防団ソフト、同和教育
-

# 昭和46年度決算のあらまし

一種住宅一八戸を建設し住宅難の解消に努めた。なお四六年に於て陣内地区二〇戸を処分し現在の公営住宅戸数は四五六戸となった。

▽消防費 八、六〇〇千円

消防自動車一台三、七五〇千円動力ポンプ五台一、三〇〇千円ホース管倉等七八〇千円空焚閉連防火水槽等一、四一五千円火の見桶ポンプ倉庫等三五千円を投じ消火施設の充実に努めた。

調査を計通り完了した。

▽造林事業 六、三九九千円

例年造林計画に基づいて町有財産の造成に努めているが四十六年度における造林及び諸手入に要した費用は、新植九、四七九千円、保育延一〇五九千円、三、四四千円、補植四一、一〇二千円その他六九千円を投資し長期健全財政の確立に努めた。

▽積立金の造成 二、一五〇〇千円

財政調整基金三、五〇〇千円、土地開発基金一八、〇〇〇千円の積立を行ない、将来の事業に対する経営資金その他の特殊な財政の健全なる運営を図ることとした。

▽商工振興費 八、〇八〇千円

誘致工場ポリーディング二、七〇〇千円商工会助成二、〇〇〇千円店舗改善利子補給二、三三〇千円、誘致工場事業五〇〇千円、その他振興助成五二〇千円等の支出をもって商工振興に努めた。

▽教育費 三、一三七六千円

護国小学校区大津東小校区児童生徒の体育増進のため護国小体育二、三三三千円大津東小プール五、七四五千円にて建設し、社会教育施設面では公民館の改善補助等一、五〇〇千円保健体育施設では今年度町民グラウンド用地九、九九八千円にて購入、工事費三、三〇〇千円を投じ施設の充実に努めた。

▽道路橋梁費 五、一三七千円

道路維持費六、〇八六千円道路新設改良費三、八七二千円等の投資をもって町道の維持及び新設改良に傾注するとともに県道についても一、一八〇千円の負担金を納入し舗装をするなど道路の整備に努力した。

▽災害復旧費 二、〇四七九千円

農林施設災害復旧費七件六、二六八千円公共土木災害復旧費二件八、四九二千円文教施設災害復旧費一件五、七一九千円をもって被害ヶ所の復旧に努めた以上昭和四十六年度中に実施した一般会計の主な事業である。

▽国土調査 六、三三四千円

昭和四十六年度より開始した国土調査も四十六年度は杉水地区の四八〇haの住宅建設計画に基づいて西嶽団地に

尚各会計別の決算の状況は別表の通りである。

昭和四十六年度大津町の一般会計及び特別会計の決算並びに昭和四十六年度中に実施した一般会計の主な事業について概要をお知らせします。

▽農業振興及び畜産振興事業四九、二六四千円

農業振興施策として、養蚕果樹茶葉野菜等の特殊作物の振興育成と併せて、畜産振興、農道整備、病虫害駆除等に努めた。養蚕果樹野菜等振興一、九六二千円、病虫害駆除三、四四六千円、家畜導入等補助三、七四八千円、牧野牧場事業一、四九五千円、耕地整備及び農道改良補助七、八三三千円、農道建設事業一九、七九〇千円を投資し振興と整備に努力した。

款	予算額	収入済額
1. 町助交地方交付金交付金交付金交付金	122,972	129,392
2. 車取得税	8,015	6,560
3. 交付金交付金交付金交付金	280,000	283,679
4. 交付金交付金交付金交付金	1,880	2,288
5. 交付金交付金交付金交付金	14,279	13,897
6. 交付金交付金交付金交付金	14,693	14,962
7. 交付金交付金交付金交付金	68,651	69,076
8. 交付金交付金交付金交付金	74,786	75,306
9. 交付金交付金交付金交付金	13,159	14,083
10. 交付金交付金交付金交付金	2,540	3,304
11. 繰入金	212	213
12. 繰入金	31,014	31,014
13. 諸収入	5,070	7,309
14. 町税	29,500	28,800
15. 雑収入	10	25
歳入合計	666,781	679,909

一般会計歳入歳入内訳表

款	予算額	支出済額
1. 議会費	19,533	49,341
2. 総務費	125,300	122,697
3. 民生費	83,493	87,709
4. 衛生費	23,783	22,823
5. 労働費	419	310
6. 農林水産業費	103,947	102,461
7. 商工木防費	130,055	12,154
8. 土木防費	99,957	99,656
9. 消防費	15,572	15,101
10. 教育費	115,420	112,308
11. 災害復旧費	20,693	20,479
12. 公債償還費	36,464	36,010
13. 予備費	4,140	0
歳出合計	666,781	651,049

歳出(単位千円)

住宅改修貸付資金特別会計

歳入		(単位千円)	
款	予算額	収入済額	
1. 国庫支出金	410	410	
2. 町債	1,200	1,200	
3. 繰入金	60	60	
4. 繰越金	101	101	
5. 諸収入	259	266	
歳入合計	2,030	2,037	

歳出			
款	予算額	支出済額	
1. 総務費	101	81	
2. 事務費	1,722	1,722	
3. 公債費	207	207	
歳出合計	2,030	2,010	

歳入歳出差引残額 27千円は翌年度へ繰越

大津町外五ヶ町村共有財産管理処分事務受託特別会計

歳入		(単位千円)	
款	予算額	収入済額	
1. 財産収入	1	533	
2. 諸収入	53	21	
3. 繰越金	430	639	
歳入合計	484	1,193	

歳出			
款	予算額	支出済額	
1. 総務費	101	54	
2. 予備費	383	0	
歳出合計	484	54	

歳入歳出差引残額 1,394千円は翌年度へ繰越

直診勘定 (単位千円)

款	予算額	収入済額	
1. 診療収入	11,515	12,218	
2. 使用料及び手数料	8	36	
3. 財産収入	150	150	
4. 繰入金	2,500	2,500	
5. 繰越金	2,350	2,351	
6. 諸収入	18	52	
歳入合計	16,541	17,307	

歳出			
款	予算額	支出済額	
1. 総務費	8,170	8,115	
2. 医業費	7,940	7,907	
3. 施設整備費	205	195	
4. 公債費	219	212	
5. 予備費	7	0	
歳出合計	16,541	16,429	

歳入歳出差引残額 878千円は翌年度へ繰越

交通災害共済特別会計 (単位千円)

款	予算額	収入済額	
1. 交通災害共済会費	3,517	4,225	
2. 繰越金	801	802	
3. 諸収入	31	63	
歳入合計	4,349	5,090	

歳出			
款	予算額	支出済額	
1. 総務費	3,381	2,399	
2. 予備費	968	0	
歳出合計	4,349	2,399	

歳入歳出差引残額 2,691千円は翌年度へ繰越

一般会計性質別歳出入訳 (単位千円)

区分	決算額	比率%
人件費	204,297	31.4
物件費	73,690	11.3
建設事業費	206,234	31.7
積立金	21,500	3.3
その他の経費	145,328	22.3
合計	651,049	100

国保特別会計事業勘定

歳入		(単位千円)	
款	予算額	収入済額	
1. 国民健康保険税	49,950	49,879	
2. 使用料及手数料	30	33	
3. 国庫支出金	96,656	101,520	
4. 県支出金	44	48	
5. 財産収入	700	693	
6. 繰入金	1	0	
7. 繰越金	27,057	27,057	
8. 諸収入	1,724	2,813	
歳入合計	176,162	182,043	

歳出			
款	予算額	支出済額	
1. 総務費	9,022	8,642	
2. 保険給付費	144,922	139,051	
3. 保健施設費	2,948	2,897	
4. 基金積立金	8,100	8,100	
5. 諸支出金	6,088	6,058	
6. 予備費	5,102	0	
歳出合計	176,162	164,748	

歳入歳出差引残額 17,295千円は翌年度へ繰越

## 知事視察をうけた

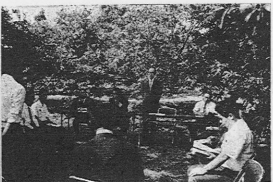
### 東部菊池栗振興協議会

昭和二十五年農業労働力の流出と畑作の生産性の低下等により畑地に粟が栽培される様になった県並に町の振興重点果樹として積極的な指導体制と良きリーダーを得た栗生産部会は、病虫害対策に明け暮れ又は台風に追はれ、苦悶の十年を経てはじめて此所に県知事の視察に浴する栄を得た。

「新興県でありながら全国第三位の生産量を誇り更に最盛期に於ける出荷量は大阪市場で第一位のシユエヲを占めて、日本の栗産地を旨指して躍進する産地に敬意を表すると同時に果樹の二本柱として生産者の期待に副える積極的な振興体制をとりたい」と力強い県知事の言葉賜り志気燃える会場であった。昭和四十四年隣接ケケ町村の町村長及び各町村の栗生産部会の代表者の総意によって広域主産地の造成についての会議が頻繁に開催されここに東部菊池栗振興協議会の、誕生をみた。

大消費地の要求に対する、大生産団地の造成は流通経済の原則であり、最も有利に販売するための組織が確立されたのである。

今後更に苦悶は続けられるものであるが、品質の改良と増産とによって、安定多収を獲得して粟の策こう明る、農村の目標到達に組織をあげて努力を続けるものである。



## 松食い虫の防除

### 被害樹を発見したら連絡を

戦後の山林乱伐のため急激に増加した成虫をみるに、昭和二十七年をピークにその後年々減少し、昭和三十四年頃より横ばいの状態にあります。松食い虫の種類は、何十種類もあり、大津地区の害虫はマダラカミキリ・マツコボシソ

ウムシ・マツノコキイムシ・マツノシラホソウムシ・マツクロキボシソウムシ等の種類が生息しているようです。これらはいづれも年一回の発生で、成虫で越冬するものが多いが、時には幼虫で冬を越し、成虫は四〜十月に現われ、この幼虫は不規則に食害します。

最近環境緑化の普及、国道沿線の美化等が施策の一端として取り上げられ、松食い虫の防除については、熊本

### 産業開発青年隊員募集

○入隊人員 四十名

○応募資格 十八才から二十五才まで身とも心に健全で共同生活に耐え得る独身男子で学歴は問いません。

○応募期間 昭和四十七年九月一日から昭和四十七年十一月三十日まで(十一月二十日の消印有効)

○試験の期日及び場所 昭和四十八年一月二十一日(月) 熊本市水前寺公園二八番五十一号「熊本県職員会館むつみ荘」

○問い合わせ先「くわい」ことは産業開発青年隊訓練所に直接照会するほか、熊本県土木部監理課「庶務係」又はもよりの土木事務所「事務課」あて照会してください。

### 立入り調査のお知らせ

菊池台地区国営土地改良事業計画地域への立入り調査が実施されます。

地域 大字大津・室・杉水・平川及び矢薙川の畑地、山林の一部  
期間 四十七年九月十一日〜四十八年三月三十一日、

調査に從事する者

九州農政局 熊本県及び町役場関係者

県知事の防除命令や、指示等で毎年通達が町長宛発せられます。これら松食い虫の被害木をその儘放置している、庭園樹、盆栽木等にも被害が出る虞れがあります。

被害木を発見したら、町役場林務係又は、森林組合に連絡をして、早急に伐倒しなれば、万難する虞れがあります。ただし、各目の山をもう一度見廻ってください。

# 九月定例会報告

九月定例会は九月十九日招集され議  
長開会宣言、会期を十九日から二十八  
日までの十日間と決定された。

会期日程次の通り

- 九月十九日 本会議 案の上程
- 二十日 午前建設 午後経済各委  
員会
- 二十一日 総務文教委員会
- 二十二日 本会議 一般質問(七  
名)
- 二十三、二十四日 休会
- 二十五日 決算特別委員会
- 二十六日 本会議
- 二十七日 本会議
- 二十八日 本会議

主な議案  
収入役の改選  
教育委員会委員改選(二名)  
条例関係七件

一般会計補正予算  
字の区域愛宕及び町道廃止  
住宅資金特別会計補正予算  
工事請負契約の締結について  
決算認定書六件

十九日上程議案中収入役改選の件及び  
教育委員会委員改選の件については同  
日議題として審議採決の結果  
収入役 岩尾春夫氏(旧税務課長)  
教育委員 石原勉氏(再選)  
宇野正輝氏(二字保育園長)

他全議案は各所管の委員会に付託され  
二十八日議決

## 防災功労者に

### 知事表彰

本年七月三日から六日にかけての東  
中豪雨災害等に際し災害応急並びに災  
害復旧対策等に特に尽力された個人及

び団体等について、防災功労者として  
県知事による表彰並感謝状伝達式が九  
月一日、県庁に於て行われ本町より次  
のよう表彰された。

- 表彰状
- 個人の一部 府内 義隆
  - 消防団第四分団長  
団体の部 鳥子川区  
熊本県産業開発青年隊訓練所  
感謝状 団体の部  
大津町農業協同組合 大津町商工会

## 「消防団だより」

### キケン物の取扱ひ

#### 保管は安全に

台風、豪雨の季節です、危険物の中  
には爆発したり、水に化合して高熱を  
出したり、可燃ガスを発生したりする  
ものがありますので危険物の取扱ひ、  
保管には厳重に注意して、安全な場所  
を選んで下さい。

#### ◎ 危険なもの

ガソリン、灯油、重油、軽油、生石  
灰、発煙硫酸、燐火カルシウム、カ  
ーバイト、  
特にガソリン、灯油、重油、軽油等  
の貯蔵、取扱ひは消防法により無許可  
で次の容量(指定数量)以上は禁じら  
れております。

- ガソリン 二〇〇ℓ
- 灯油 二〇〇ℓ
- 軽油 六〇〇ℓ
- 重油 二〇〇ℓ

なお、最近農家等で前記のキケン物  
等をドラム缶で購入した家庭があります  
が、町火災予防条例で指定数量未満の  
危険物の貯蔵、取扱ひは、町長の許可  
を取る事となっております。

又十月一日から大津町外二ヶ町消防  
組合が発足し、今後は消防組合の職員  
が査察を実施し違反者のきまはつを行  
ないますので、現に無許可で貯蔵、取

扱を行なっている方は早急に手続され  
るようお願いいたします。

- 手続先 役場総務課庶務係まで  
大津町消防団幹部事務所  
消防団長 緒方 計助(再) 室  
副団長 上田 辰也  
(前第一分団長) 吹田  
伊原 亘  
(前第七分団長) 矢護川



……消費者コーナ……

### 製品の安全マークがきました

新製品が次々と出回るとともに欠陥  
商品も増え、商品の品質、性能等に安  
全性の確保が強く望まれています。

このよう重要な要望を反映して、八月一  
日から通産省の指導で財団法人「製品  
安全センター」が発足しました。

このセンターは消費者代表、学識経  
験者などメンバーを除いた第三者で構成  
され危険な商品、有害な商品をチェッ  
クして消費者が安心して買い物ができ  
るようにしようというものです。

具体的には独自の安全基準を作り、  
それに合格した商品には右図のような  
安全マークがつけられます。

つけた後もマークのついた商品を買  
い上げてテストし不安があればマーク  
をとり消します。また安全マークをつ  
けた商品を正しく使用したのけがを  
したり死亡した場合には製品安全セン  
ターの責任で保証することになってい  
ます。今年度はペビーカーや歩行器な  
ど育児用乗り物からはじめていく予定  
です。

金婚おめでとうございます



恒例の金婚夫婦の表彰(熊日主催第  
十四回)が十日午前十一時より役場  
議会議室で行われ二十五組の方々を表彰  
状及記念品が贈られました。町長から  
もそれぞれ記念品を贈り祝福致しまし  
た。

田上 市松 錦野 合志 菊雄 瀬田  
ミサエ ハルニ  
藤本 鶴次 大津 大田黒賢男 吹田  
スミエ  
荒木小太郎 中島 穂口 光次 陣内  
アサエ  
合志 甚八 古城 宇野 徹治 平川  
ナツ スマ  
岩下 善次 新 中村 止喜 陣内  
キクエ ミヅエ  
岩田 昇 大津 中野 勝喜 平川  
シズエ カメエ  
三池 応 矢護 高木 豊記 陣内  
スエ 川 辰雄 キクエ  
藤原 勝喜 矢護 藤本 一雄 大津  
ツ子 川 スエノ  
大田黒輝雄 下町 大田黒茂男 下町  
カツミ カツミ  
杉水 ミスエ 杉水 上田 保 陣内  
サカエ  
木原 桂蔵 室 小西 勝美 大林  
アサエ ノエ  
阪田 ツグ 勇 外牧 毛利上林次 引水  
ツグ チヨカ  
上野武一郎 大津

国保 世帯平均

六二、八九五円の医療費

昭和四十六年四月から本年三月迄に  
診療を受けた方について近く個人  
別にその医療費をお知らせいたしま  
す。

なお医療費の通報については、慎重  
を期した心算であります。医療機関  
からの月遅れ請求等の関係もあり誤ま  
りやお手紙の数字と異なることがない  
とも限りませんので、御諒承を願いま  
す。

この通報は医療機関の読解を得て行  
うものであります。診療の内容以外の  
ことについては、更に詳細を承知され  
た方は「国保係」までお問合せ下さ  
い。

町全体としては次のとおりでした。  
総費用額 一九五、六〇四千円  
町負担分 一二六、二三四千円



白バラ  
コーナー

知っておきたい選挙法

立候補の届出手続

立候補届出の種類

立候補の届出の種類には、立候補す  
る本人が届出するものと、選挙人名簿  
に登録されている者が他人を公職の候  
補者としてようとすると、本人の承諾  
を得て、文書でその推せん届出をする  
二つの方法がある。いわゆる「本人  
による届出」「推せん届出」と言われ  
るものであります。

立候補の届出の期間

公職の候補者となろうとする者は、  
その選挙の期日の告示があった日から  
二日間に、郵便によらないで、文書で

個人負担 五八、三八千円  
結子負担 九九千円

本年度は医療費の自然増加が例年  
比べて低調でありましたがそれでも一  
世帯当たり総医療費は六二、八九五円に  
及んでおり、基準総所得金額の一四、  
三%を占めています。

本年度は医療費改訂等の影響で大  
増加が予想されます。国保事業運営  
の上において、本、明年度にかけて  
財政的に最大の危機を迎える可能性が  
最近の医療費の増加傾向によって感じ  
られています。

被保険者である私も一人一人が、  
医療費の節減について再考し実践し  
て行なければならぬ時機にきている  
と思えます。このことは裏を返せば保  
険税に繋がる問題であります。被保険  
者各位の自覚と御協力を切望する次第  
であります。

その旨を選挙長に届出することとな  
っている。この立候補届出は、日曜祭  
日でもすることができ、その受付時間  
は午前八時三十分から午後五時までで  
す。

立候補の届出書

(1) 立候補の届出書には、候補者の氏  
名、本籍、住所、生年月日、職業、  
党派名、および選挙の種類などを記  
載するが、推せん届出の場合には、  
このほかに、推せん届出書に推せん  
届出人の住所、氏名、生年月日を記  
載しなければならぬことになって  
います。

(2) 以上のほかに届出書には次の書類  
を添付しなければなりません。  
宣誓書、通称使用申請書、戸籍抄  
本、政教証明書推せん届出には、推せん  
届出人の選挙人名簿登録証明書がい  
ることになっています。

◆きれいな選挙の推進は  
出たい者より出したい人を◆

# 町長に 便りを出そう

ごみ収集車を  
廻して下さい

やめましょうごみの不法投棄と広報にておりました。  
このごみの不法投棄が、一番私達の目に付きます。違反者は五万円の罰金をつけますと書いてあります。月に何回か週には一度もごみ取り自動車にお目見えした事ありません。月に何回か週に一回か大津町全域にごみ取り自動車をお廻し下さいませ。町民の一人としてぜひお願い致します。

ごみで困る町民  
ご便り有難く拝見しました。

ごみ収集の現状を、申し上げますと、町の収集車が、巡回収集している地域は、旧大津町の市街地域だけで、他の地域は、町では収集していません。

これは清掃法という法律の規定により特別清掃地域が、設定されてこの地域については、町が収集計画をたて、収集処分を行うという事になっていきます。以上のような理由により、お便りをいただきました地域は、特別清掃地域以外で、町では、収集していません。

しかし、近年経済の高度発展により、国民の生活水準は、著しく向上して参りましたが、一方に於ては公害の発生等人間の快適な生活環境が破壊されています。この様な実状から固に於ては国民の生活環境の保全を図るという目的で、昭和四十五年十二月二十五

日、清掃法が全面改正公布され、昭和四十六年九月二十四日から施行されています。

この、法改正により、従来の特別清掃地域がなくなり、従来の特例として全地域を町が収集処分しなければなりません。そうなりますと、現在の施設及び人員では、当然処理出来ませんので、町では本年度、新たに用地を確保し来年度に、焼却施設を新設すると共にのみやかに収集計画を定め、昭和四十九年四月一日事業開始をメドに鋭意努力致しております。

現在収集していない地域の住民の皆様には、大変御迷惑をおかけしていますが、以上御理解のうえ今しばらくの御辛棒をお願いしたいと思ひます。

## 大津小学校区に

### 交通安全母の会誕生

激増する交通事故から、我が子を、我が夫を、そして家族全員を守ろうと、大津小学校区のお母さん方が交通安全母の会を結成しました。

事故の悲惨さ、おそろしさは誰でも知っています。しかし自分ごと事故に遭うかも知れないという事を実感として受け取っている人は少ないと思われまます。事故に合つて、初めて心配し、悲しみ、二度と事故を起こさないよう、又事故に合わないように祈る人が大部分と思われます。このようなことがない様に、まず自分の家庭から、そして大津小学校区から交通事故なくすることを目的として、結成されました。

組織は大津小学校区に居住している全てのお母さん方に参加し戴くため婦人会とPTAが二本の柱となつていま

す。結成式は九月二十八日、大津小学校講堂で多数のお母さん方がお集りになり催されました。

役員の方々は左記のとおりです。  
会長 菅原 愛子  
副会長 牧島チトセ  
竹本 悦子

#### 運営委員

合志めぐみ 坂本サチ子  
赤星ソノブ 谷山多鶴子  
中津恵美子 雨森ミツ子  
森山 誠子

今後の交通安全対策の決め手と言われるお母さん方が自発的に立ちあがられ、行政(役場)、警察、安全協会と一体となつて活動されることになり、当町の交通安全対策(特に意識の高揚の面)は大きく一歩前進したと言えます。これからの母の会の皆様の活躍が各方面から期待されています。

#### 杉下子供会が

### カーブ・ミラーを設置

杉下子供会の良い子の皆さんが地蔵祭の「花代」でカーブミラーを設置しました。毎年無駄に使っていた事を反省し、少しでも社会の役に立てようとして、部落内の危険ヶ所にカーブ・ミラーを設置しました。子供達の美しい心は現代に欠けている人命尊重の心に育つてゆくことでしょう。

杉下子供会のみなさん、ありがとうございます。

八月の事故件数

傷者	死者	件数	本年累計	
			8月	累計
32人	0人	16件	127人	84件



## 大津小学校に三つの栄冠



※九月十五日菊池郡市小中学校剣道大会が菊池市体育館で行なわれ大津小学校の豆剣士達は栄光ある優勝旗を手にする事ができた。

選手(六人)

佐伯 正治 日野 克彦  
内倉 浩章 西野 秀孝  
大塚 浩

尚佐伯正治君は個人戦にも優勝、大津小剣道部は二重の喜びに包まれた。

※九月十五日市内公設プールで行なわれた県下学童水泳記録会において次の輝かしい成績をおさめた

六年女子一〇〇米平泳

一位 吉岡 明子

〃

五〇米平泳

二位 吉岡 明子

〃 一〇〇米バタフライ

二位 石崎 真弓

六年男子一〇〇米平泳

三位 光山 享治

五年男子二〇〇米自由型

六位 中川 和弘

尚吉岡明子さんはオリンピックで見事金めだるを射とめた青木まゆみ選手など有名選手を招待しての県の水

泳大会に特別招待され参加した。  
※本年度文部省教育課程研究会県大会において研究発表演習(図工)江藤(社会)の両先生が県代表として来年初めに行なわれる東京の全国大会への出場が決定したこの程通知があった数少ない県代表の中学校から二名の代表が決定したので教育界の注目を集めている。

### 訂正

広報九月月号学童水泳記録会記事の中四男 25m平泳  
木村浩幸 大津小とありますが、東小のあやまりでした訂正いたします。

### 平川地区簡易水道新設工事

九月十一日大津農協平城支所前の水源地において起工式が行われました。請負金額 工期、業者等については、広報九月号でお知らせしましたとおりです。

### 大津町上水道第三次拡張工事

九月十四日吉神社において起工式が行われました。今回の第三次拡張工

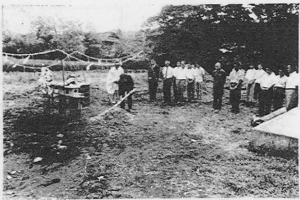
### 長時間駐車は町営駐車場へ

役場庁舎敷地内駐車についてのご協力を、

庁舎敷地内の駐車については他に公営の駐車場が少ないので、皆様の利を考慮して駐車場を開放して、います。  
併し最近マイカーの急増により時間によっては、出ることも入る

事は、昭和四十七年度より三ヶ年継続事業で国の認可を得て施行するものです。が、請負契約条件としてこれを二ヶ年で完了するよう特約しましたので、昭和四十九年三月末までには完了する予定になっております(但し雇業高校給水関係の配管工事は昭和四十八年一月十五日まで)、工事区域内を二区に分けて施行致します。

一工区請負業者 荏原建設株式会社  
九州支店(福岡市)  
金額 一〇一、五九〇、八〇〇円  
二工区請負業者 第一機工株式会社  
(熊本市)  
金額 七九、八四〇、〇〇〇円



ことも出来なく混乱を極め、役場に所用に求められるお客様に大変ご迷惑をおかけしております。  
このままの状態では何らかの厳しい規制をしなければならなくなりますので、そのようなことにならないよう役場にご用がなくて単に駐車のため長時間役場駐車場を利用しておられる方は、岩下商店北側の町営駐車場を利用していただくようくれぐれも協力をお願いいたします。



# 老人福祉大会開催

本年度社協主催による老人福祉大会は、九月十二日午前十時から大津小中学校体育館において約六百人のお年寄りが出席して賑やかに開催、会長式辞

石崎社協会長  
大塚町長  
来賓祝辞

等原民生委員協議会総務  
九十才以上の老人に対し記念品贈呈

大塚町長  
高木盛義先生  
講話

交通安全のお話 佐々大津警察署長  
中食

真華芸能社  
万才三福 永田老人クラブ連合会長  
等で盛會裡に午後三時閉会しました。

## 心配ごと

### 出張相談所の報告

御承知の通り民生委員の更生相談(心配ごと相談)は、毎週火曜日に社協の事務所(老人館の家)で行なわれておりますが、九月十一日の火曜日には、特に現地に出張して相談を受けることにしました。

当日の出張先は、小林、岩坂、上町源場、中窪田の五部落でしたが、午前十時から午後三時までの間、法律問

題三件、精神衛生の問題二件、健康結婚、家庭不和、苦情相談がそれぞれ一件、合計九件の相談がありました。

### 全国行政相談週間

十月十五日(二十一日)まで

全国三、六〇〇人の行政相談委員によって全国一斉に行政相談所が開設され皆さんからの苦情の申出で待っています。役所の仕事についてデキバキや

不親切な取扱いを受けたり、納得出来ない、どうしたらよいか判らない、こうして欲しい等役所に対する苦情や相談や意見があるかどうか関係の役所には申出にくいとか、どこへ申出たらよいか判らないという方は

気軽に地元の行政相談委員か行政監察局へ申出下さい。取扱は無料です自分の名前を出したくない方申出の内容を秘密にされた方は御希望にそう様にしていきます。

行政相談で取扱うのは国の役所の仕事を初めとして国鉄電々公社専売公社等の法人や県、市町村等の仕事で例へば登記、年金、保険、公業衛生、農地、公害、道路、河川、鉄道、電信電話、用地買収等の凡ゆる方面に亘つての苦情です。

相談日 十月二十日(十時)・二十五日(午後九時)より午後三時まで  
役場会議室行政相談委員  
合志 武一

### 熊本中央広域

#### 市町村協議会発足

熊本市を中心として新しい生活圏行政を展開しようとするもので、道路網の改良並びに行政区域を超えた公共施設の整備を図り、同時に均衡ある発展と過疎過密問題の解決に資するため、関係市町村の共同体制を整えて、広域行政を行おうと、事務所を熊本市役所内に置き、大津町からは長田主事が派遣職員として勤務しております。

### 五日は……税の相談日

経済情勢や商取引の影響などで毎年のように税法が変わりますので、税法は一般の方にとってはなかなかわかりにくいものになっています。そこで、税金についての疑問や質問にお答えするために税務署では、毎月五日の日を「税の相談日」と定めています。

電話による相談を受けていますので(電話・菊池〇九六八二二二二番)気軽にご利用下さい。

### 集合徴収 日程表

10月24日	午前	牧野	川坂	島田	林田
	午後	内外	錦島	岩中	瀬大吹
10月25日	午前	森	内町	町	陣上下
	午後	尾野	川上下	高平	平真杉
10月26日	午前	木水	小林	場中	所又中
	午後	上	御願	片下	
10月27日	午前				
	午後				

### 第3期固定資産税国民健康保険税



善意

社協一般香附金

香典返し

- 一〇〇〇〇円 上陣内 宮本義雄殿
- 亡婦 千登代殿
- 五、〇〇〇円 真木 山辺昭行殿
- 亡父 与一殿
- 一〇〇〇〇円 鳥子川 東家 恵殿
- 亡妻 ソヨ子殿
- 一〇〇〇〇円 中学通四
- 高木 ハツミ殿
- 亡夫 仁七郎殿
- 一〇〇〇〇円 下陣内 藤本雄殿
- 亡妻 フジエ殿

社会福祉社

- 一〇〇〇〇円 大津商工青年会議所、夜市実行委員会
- 一、一〇〇〇円 シヤバンド 三池園重トリオ一同 (二十五日まで)

オキヤリ献金

- 一、〇〇〇円 室 三島誠一殿
- 三、〇〇〇円 引水 谷本保馬殿
- 一、〇〇〇円 陣内 吉永 明殿
- 一、〇〇〇円 高尾野 佐藤正敏殿
- 一〇〇〇円 室 大塚脩三殿

善意銀行

労働者社  
引水老人クラブ(会長高野文平)殿では、九月十六日、老人憩の家草取奉仕

老人ホーム慰問

本町二 石原富士哉様 ソウメン8K  
日吉町 古閑大二様 一三、五〇〇円  
大津町一町民(匿名者様)

見舞金五〇〇円

地産祭

室五 十九分団山下廣 今村成一様 六〇〇円  
村西 十八分団大塚賢次、後藤順子様 五〇一円  
中学通り四 子供会 一、〇〇〇円  
年弥 十四分団子供会 五一五円  
室一 子供会 五一〇円  
井手上 第十六分団子供会 一、〇〇〇円  
室三 十九分団子供会 三七〇円  
室四 袋小路組 五〇〇円  
引水子供会 四〇〇円

五分団二丁目荒木あさ子、梅田幸弘、山田万佐子、うえはらまき、緒方いさお、藤本せいじ様 五〇〇円  
松古岡、旭町婦人会(ハナナ)八、五K、万十一〇個  
大津町社会福祉協議会、民生委員 一同様四、七〇〇円  
専売公社贈本営業所長様

煙草エース五、二〇〇本  
室一 緒方計助様 タオル五十枚  
大津町一町民(匿名者様) 五〇〇円  
室一 柴田外科医医院 ブドウ酒一本  
焼酎三本

知事沢田一精様 三、五〇〇円  
菊池郡社会福祉協議会様一、五〇〇円  
日赤熊本県支部長河津雄様  
上笹 中村喬楼 タオル一〇四本  
上笹 中村商店様 三、〇〇〇円  
村西 菅原強楼 お菓子四K  
卯五十個

おめでとうございます

日置 明美  
今村 進  
藤本 美子  
南部 一成  
森山 淳彦  
荒木 一彦  
官崎 かつり  
太田 はづき  
三谷 安則  
三島 龍  
樋口 珠美  
吉永 香里  
中川 千春  
大塚 安昭  
家入 雅文  
古庄 和子  
大塚 茂之

おくりやみ  
申し上げます

大塚オコメ  
宮本チトヨメ  
村山サトヨメ  
山邊マユエ  
坂本マユエ  
山口 薫  
東家 せよ

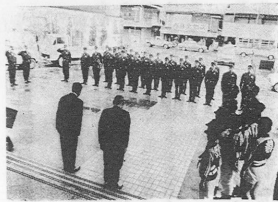
大津小学校の二 歌岡、高原、堀川  
永田、小西、坂本、矢野様  
莫子一K花束床かざり  
上笹新町加藤スエト様、杵家弥恵富先生外十三名様共頃慰問焼万十  
五十名分

老人憩の家よりお知らせ

休湯 十月十日頃まで  
定例休館 毎週 日曜日

心配ごと相談

毎週火曜日、秘密厳守、無料  
午前十時より午後三時まで  
十月の相談日  
十一日(水)、十七日、  
二十四日、三十一日、



## 仮事務所で

### 業務開始

大津町外二ヶ町消防組合

大津町菊陽町及び上益城郡菟碓町の三町では常備消防に関する事務を共同処理するため消防組合を四月一日発足しました。が、いよいよ十月一日から仮事務所（菊陽町役場）で業務開始することになりました。ご承知のとおりこの三町は熊本市に隣接し人口の増加と交通事故の多発に伴う消防救急業務と新熊本市空港の消防体制の確立と併せて空港を拠点とする地域開発と相俟って当面の重要な課題をかかえております。前期入校の消防士二十一名は四月十七日、熊本県消防学校に入校し約五か月間正規の教育訓練を終了し九月十四日卒業してまいりました。本格的な業務開始の前に署長以下二十八名、消防体制の確立を目標にはききつておられます。業務開始にあたりまして現在の消防の方々にはもとより町民の皆様方のご指導とご協力をお願い致します。仮事務所（電話菊陽二二二一）番緊急電話二一九番は十月五日より開通大津町出身の消防職員は次のとおりです。

## 消防団ソフトボール大会

消防士長 古庄 正光、藤本 昭一  
消防士 埋田 広成、江藤 梅雄  
中無田誠輝、家人 公生  
大村 勝伸、桐原 一行

九月十七日、大津中・大津高グラウンドに於て各分団より二チーム、本部一チーム計十七チームが参加して、親睦と和を目的に町長旗、議長杯争奪第二回ソフトボール大会が盛大に行なわれました。

優勝 第八分団 第三位 第八分団  
準優勝 第三分団

自衛官陸・海・空士志願案内

受験資格 十八才以上二十五才未満の

男子 女子

志願の手続 大津役場 総務課

初任給 三〇、〇〇〇円

賞 与 年四、八ヶ月分

退職金 陸上二年一十万円以上

空海三年一十七万円以上

夜間の大学、高校等に進学

出来ます

特典 技術を身につけいろいろの

## 成績優秀隊員の表彰

陣内出身 坂本定熊 二士

陸上自衛隊別府教育隊に入隊

教育期間中、学術訓練に精励して優秀な成績を認められ大隊長賞を受けました。

## 人事異動

収入役柴田義美氏は九月十五日任期満了により退職されました。

氏は昭和十六年三月役場書記に就任以来、三十一年余その半生を地方自治発展のため尽力され、今日の大津町の基礎を築かれました。

ほんとは長い間ご苦勞さまでした。尚後任収入役に前事務課長、岩尾春美氏が選任されました。

新しい教育委員に次の方々が選任されました。

石原 勉 室（再）

字野 正輝 平川（新）

## 同和教育推進協議会発足

九月二十一日公民館で発会式を行なった、社会同和、学校同和を網羅した組織で小中学校、各種団体代表者など八十五名の会員である。今年より学校教育の場でも同和問題が教材として取扱われる重要なときを迎え、本町同和教育推進の中心母体となる組織である。会長に上田和平、副会長に吉川四秀夫、松永政利氏を選任、事務局は中央公民館に置かれる。

